

2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6094 URL <https://www.fout.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 Global CEO (氏名) 本田 謙
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 永井 秀輔 TEL 03(6721)1740
定時株主総会開催予定日 2025年12月25日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年12月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期の連結業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	50,323	△2.7	96	—	564	53.9	275	—
2024年9月期	51,711	69.0	1	△99.9	366	△84.3	△3,190	—

	EBITDA		調整後当期利益	
	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	1,952	10.0	691	44.1
2024年9月期	1,775	△48.6	480	△75.7

（注）包括利益 2025年9月期 367百万円（-％） 2024年9月期 △2,978百万円（-％）

（注）1. EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法による投資利益＋株式報酬費用＋M&Aに関する株式取得・売却関連費用

（注）2. 調整後当期利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却費および買収に伴う無形資産償却費＋株式報酬費用＋一過性の損益調整額

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	15.85	15.81	2.4	1.4	0.2
2024年9月期	△179.75	—	△22.0	0.8	0.0

（参考）持分法投資損益 2025年9月期 664百万円 2024年9月期 538百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	40,210	12,143	26.1	603.88
2024年9月期	41,617	16,951	30.4	728.73

（参考）自己資本 2025年9月期 10,493百万円 2024年9月期 12,662百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	△36	△986	△2,992	16,367
2024年9月期	△2,699	244	3,055	19,821

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	55,000	9.3	700	625.3	1,000	77.1	500	81.5	円 銭 28.77
	EBITDA		調整後当期利益						
	百万円	%	百万円	%					
通期	2,500	28.0	950	37.3					

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 14「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）及び（会計上の見積りの変更に関する注記）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年9月期	18,022,924株	2024年9月期	18,022,924株
2025年9月期	646,412株	2024年9月期	646,408株
2025年9月期	17,376,512株	2024年9月期	17,748,137株

（参考）個別業績の概要

1. 2025年9月期の個別業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	889	△21.1	△243	-	△514	-	△657	-
2024年9月期	1,127	△63.7	△240	-	△581	-	△4,179	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期	△37.86	-
2024年9月期	△235.50	-

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	22,228	8,605	36.7	469.01
2024年9月期	19,762	9,249	44.5	505.64

（参考）自己資本 2025年9月期 8,149百万円 2024年9月期 8,786百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

売上高については関係会社からの配当の減少、当期純利益については前事業年度に関係会社株式評価損を特別損失に計上したため、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	14
(会計方針の変更に関する注記)	14
(会計上の見積りの変更に関する注記)	14
(連結損益計算書に関する注記)	15
(セグメント情報等の注記)	17
(企業結合等関係の注記)	22
(1株当たり情報の注記)	23
(重要な後発事象の注記)	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、ミッションである「人に人らしい仕事を。」の実現を目指し、日本、北米、東アジア及び東南アジアを中心に、グローバルに事業を展開しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復が見られました。一方で、物価上昇の高止まりに加え、通商政策などのアメリカの政策動向、急激な為替変動や金利動向、地政学リスクなど不安定な国際情勢の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当連結会計年度における当社の経営成績は、以下のような内容となりました。

まず、広告事業（日本）においては、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」及び高度なブランドセーフティ機能を搭載した動画コンテクスチュアルターゲティングを可能とする次世代型YouTube広告枠買付システム「GP」が順調に推移いたしました。

次に、広告事業（海外）では、米国法人Playwire, LLCにおいて、Programmatic Salesが好調だった一方で、Direct Salesが依然として回復途上にあることなどが影響し、前年同期比で営業利益およびEBITDAが減益となりました。また、東アジア・東南アジアは堅調に推移しております。

UUUM株式会社では、前年同期比で売上高、EBITDAが減益となりましたが、構造改革の取り組みを継続しており、収益性の回復に向けた体質改善を進めております。

持分法適用会社では、タクシー内のデジタルサイネージを提供する株式会社IRISが、順調に利益貢献いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高50,323百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益96百万円（前年同期は営業利益1百万円）、経常利益564百万円（前年同期比53.9%増）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法による投資利益＋株式報酬費用＋M&Aに関する株式取得・売却関連費用）1,952百万円（前年同期比10.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益275百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失3,190百万円）、調整後当期利益（親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却費および買収に伴う無形資産償却費＋株式報酬費用＋一過性の損益調整額）691百万円（前年同期比44.1%増）となりました。なお、前連結会計年度はUUUM株式会社の決算日の変更により13か月間を連結しているため、この影響を除外すると、売上高は微増となりました。

当連結会計年度より当社では、株主の皆さまへの安定的かつ持続的な株主還元のための原資を測るうえで、のれん償却費や買収に伴い計上される無形資産の減価償却費など、配当可能利益に影響を及ぼさない項目や、一時的な要因を除外し、より恒常的な収益力を示す「調整後当期利益」を経営指標の一つとして採用しております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(広告事業)

広告事業（日本）では、プレミアム媒体支援事業が順調に成長し、株式会社フリークアウトの主力プロダクトの1つである「Scarlet」が順調に推移したほか、「GP」も順調に推移しております。

また、広告事業（海外）では、米国法人Playwire, LLCにおいて、Programmatic Salesが好調だった一方で、Direct Salesが依然として回復途上にあることなどが影響し、前年同期比で営業利益およびEBITDAが減益となりました。

この結果、広告事業の外部顧客への売上高は30,367百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は744百万円（前年同期比25.0%減）、EBITDAは1,965百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

(投資事業)

投資事業では、Global展開のポテンシャルを有する製品/ソリューションを開発するITベンチャー企業を主たる投資対象として、投資リターンによる企業価値の向上を図るための事業を行っております。

当連結会計年度においては、投資先に対する管理報酬の売上計上および配当金収入の計上を行った一方で、一部投資銘柄については減損損失を計上しております。

この結果、投資事業の外部顧客への売上高は58百万円（前年同期比14.2%増）、セグメント損失は6百万円（前年同期はセグメント損失72百万円）、EBITDAは△21百万円（前年同期は△87百万円）となりました。

(インフルエンサーマーケティング事業)

インフルエンサーマーケティング事業では、クリエイターの様々な活動のサポート、クリエイターを活用したプロモーション、および番組制作・チャンネル運営等を行っております。

当連結会計年度においては、前年同期比で売上高、EBITDAが減益となりましたが、構造改革の取り組みを継続しており、収益性の回復に向けた体質改善を進めております。

この結果、インフルエンサーマーケティング事業の外部顧客への売上高は19,454百万円（前年同期比11.9%減）、セグメント損失は28百万円（前年同期はセグメント損失122百万円）、EBITDAは528百万円（前年同期比26.5%減）となりました。なお、前連結会計年度はUUUM株式会社の決算日の変更により13か月間を連結しております。

(その他事業)

その他事業では、主に国内外のグループにおける経営管理機能の提供および新規事業の推進等を実施しております。

当連結会計年度においては、グループに対する管理体制の強化に加え成長領域に向けた取り組みを推進いたしました。

この結果、その他事業の外部顧客への売上高は443百万円（前年同期比319.4%増）、セグメント損失は452百万円（前年同期はセグメント損失78百万円）、EBITDAは△360百万円（前年同期は△6百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は40,210百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,407百万円減少しました。これは主に、投資有価証券が397百万円、売掛金が769百万円増加した一方で、現金及び預金が3,453百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は28,067百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,401百万円増加しました。これは主に、長期借入金が2,213百万円、1年内返済予定の長期借入金が611百万円、買掛金が318百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は12,143百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,808百万円減少しました。これは主に、資本剰余金が2,416百万円、非支配株主持分が2,566百万円減少したことによるものであります。資本剰余金及び非支配株主持分の減少は、主にUUUM株式会社の完全子会社化によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より3,453百万円減少し、16,367百万円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、36百万円の資金流出（前連結会計年度は2,699百万円の資金流出）となりました。これは主に、償却前営業利益を計上した一方で、UUUM株式会社の株式追加取得に係る関連費用197百万円の発生や運転資本が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、986百万円の資金流出（前連結会計年度は244百万円の資金流入）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入250百万円による流入があったものの、有形固定資産の取得による支出216百万円や無形固定資産の取得による支出383百万円、敷金及び保証金の差入による支出448百万円による流出があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、2,992百万円の資金流出（前連結会計年度は3,055百万円の資金流入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入5,000百万円による資金流入があったものの、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出5,352百万円や長期借入金の返済による支出2,202百万円による資金流出があったためであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「人に人らしい仕事を。」をミッションとして掲げ、更なる企業価値の向上に邁進してまいります。

具体的には、まず引き続き成長が見込まれる国内インターネット広告市場において、従来の主力プロダクトである「Scarlet」に加えて、コンテクスチュアルターゲティングによるYouTube広告枠買付を提供する「GP」、Retail Tech領域でのインストアサイネージ事業、High Impact広告事業などを積極的に進めることで、成長を加速させてまいります。

また、海外インターネット広告市場においては、米国の景気後退の影響を受けて減速したPlaywire, LLCの再成長及びグループシナジーの創出を進めるほか、東アジア・東南アジアの各拠点についても、コスト改善や「GP」のグローバル展開などを通じて、収益力の強化に努めてまいります。

さらに、UUUM社を中心に成長著しいインフルエンサーマーケティング市場で事業をさらに展開し、課題であるマーケティング領域を分社化することで、再成長に向けた体制整備を実行してまいります。また、オフィス統合による経営合理化を進めるとともに、グループ全体としてのシナジー発現を含めて同市場での収益力強化を実現してまいります。

一方で、世界的な景気後退懸念と不安定な為替相場の影響は、2025年10月以降も継続が見込まれております。これらが当社グループの顧客の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があり、それに伴う広告出稿の減少により当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

以上の結果、2026年9月期の業績につきましては、売上高55,000百万円（当連結会計年度比9.3%増）、営業利益700百万円（当連結会計年度比625.3%増）、経常利益1,000百万円（当連結会計年度比77.1%増）、EBITDA2,500百万円（当連結会計年度比28.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円（当連結会計年度比81.5%増）、調整後当期利益950百万円（当連結会計年度比37.3%増）をそれぞれ見込んでおります。

※なお、詳細につきましては本日開示を予定しております「株式会社フリークアウト・ホールディングス2025年9月期通期決算説明資料」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国内外の諸情勢を考慮の上、必要に応じて国際財務報告基準（I F R S）の適用を検討する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,821,084	16,367,521
受取手形	4,062	10,670
売掛金	9,115,437	9,884,453
営業投資有価証券	1,019,551	1,259,003
その他	1,428,252	1,995,130
貸倒引当金	△136,044	△119,136
流動資産合計	31,252,343	29,397,643
固定資産		
有形固定資産		
建物	835,051	876,363
減価償却累計額	△570,552	△672,713
建物（純額）	264,499	203,650
工具、器具及び備品	957,478	1,035,958
減価償却累計額	△767,462	△798,416
工具、器具及び備品（純額）	190,016	237,541
その他	48,222	382,679
減価償却累計額	△11,963	△142,033
その他（純額）	36,258	240,646
有形固定資産合計	490,774	681,838
無形固定資産		
のれん	1,345,159	1,367,972
顧客関連資産	3,128,181	2,815,363
その他	626,242	602,808
無形固定資産合計	5,099,583	4,786,144
投資その他の資産		
投資有価証券	3,607,180	4,004,720
その他	1,325,119	1,455,058
貸倒引当金	△157,714	△115,197
投資その他の資産合計	4,774,585	5,344,581
固定資産合計	10,364,943	10,812,564
資産合計	41,617,287	40,210,208

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,488,044	6,806,416
短期借入金	6,544,237	6,407,843
1年内返済予定の長期借入金	1,696,757	2,308,446
1年内償還予定の社債	360,000	360,000
未払法人税等	63,019	208,317
契約負債	128,456	187,761
賞与引当金	187,191	314,836
役員賞与引当金	11,921	75,278
関係会社整理損失引当金	66,174	72,312
本社移転費用引当金	-	50,289
その他	1,451,952	1,966,115
流動負債合計	16,997,755	18,757,618
固定負債		
社債	640,000	280,000
長期借入金	5,861,627	8,074,834
繰延税金負債	877,523	875,242
その他	288,483	79,394
固定負債合計	7,667,635	9,309,471
負債合計	24,665,390	28,067,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,552,049	3,552,049
資本剰余金	3,756,280	1,339,835
利益剰余金	5,821,647	6,012,767
自己株式	△723,594	△723,597
株主資本合計	12,406,383	10,181,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,805	124,628
為替換算調整勘定	176,516	187,680
その他の包括利益累計額合計	256,322	312,309
新株予約権	528,993	455,962
非支配株主持分	3,760,198	1,193,791
純資産合計	16,951,896	12,143,118
負債純資産合計	41,617,287	40,210,208

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	51,711,413	50,323,355
売上原価	37,061,188	36,259,950
売上総利益	14,650,225	14,063,405
販売費及び一般管理費	※1 14,648,567	※1 13,966,889
営業利益	1,658	96,515
営業外収益		
受取利息	37,321	61,531
持分法による投資利益	538,173	664,073
為替差益	-	80,586
貸倒引当金戻入額	97,691	23,133
その他	119,545	59,928
営業外収益合計	792,731	889,252
営業外費用		
支払利息	108,402	183,639
資金調達費用	54,622	1,054
公開買付関連費用	-	197,612
為替差損	186,301	-
その他	78,162	38,907
営業外費用合計	427,489	421,213
経常利益	366,899	564,554
特別利益		
投資有価証券売却益	169,443	-
関係会社株式売却益	510,970	-
新株予約権戻入益	-	62,536
その他	47,305	5
特別利益合計	727,719	62,542
特別損失		
投資有価証券評価損	33,875	34,474
減損損失	※3 48,560	※3 11,968
のれん償却額	※4 3,212,733	-
関係会社整理損失引当金繰入額	-	10,674
本社移転費用引当金繰入額	-	※2 50,289
その他	26,397	2,841
特別損失合計	3,321,567	110,248
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,226,948	516,848
法人税、住民税及び事業税	460,469	326,992
法人税等調整額	152,398	△98,356
法人税等合計	612,867	228,636
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,839,815	288,212
非支配株主に帰属する当期純利益	350,457	12,739
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△3,190,273	275,472

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,839,815	288,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,059	40,364
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,969	△13,024
為替換算調整勘定	△108,443	51,701
その他の包括利益合計	△138,471	79,040
包括利益	△2,978,287	367,253
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△3,301,840	331,460
非支配株主に係る包括利益	323,552	35,792

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,552,049	3,753,239	9,011,112	△323,633	15,992,767
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△3,190,273		△3,190,273
自己株式の取得				△399,960	△399,960
その他		3,040	809	0	3,849
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	3,040	△3,189,464	△399,960	△3,586,384
当期末残高	3,552,049	3,756,280	5,821,647	△723,594	12,406,383

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	102,453	265,435	367,888	419,441	3,532,985	20,313,082
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△3,190,273
自己株式の取得						△399,960
その他						3,849
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△22,647	△88,919	△111,566	109,552	227,213	225,198
当期変動額合計	△22,647	△88,919	△111,566	109,552	227,213	△3,361,185
当期末残高	79,805	176,516	256,322	528,993	3,760,198	16,951,896

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,552,049	3,756,280	5,821,647	△723,594	12,406,383
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			275,472		275,472
自己株式の取得				△2	△2
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△2,416,445			△2,416,445
連結範囲の変動			△86,573		△86,573
その他			2,220		2,220
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	△2,416,445	191,119	△2	△2,225,328
当期末残高	3,552,049	1,339,835	6,012,767	△723,597	10,181,054

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	79,805	176,516	256,322	528,993	3,760,198	16,951,896
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						275,472
自己株式の取得						△2
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△2,416,445
連結範囲の変動						△86,573
その他						2,220
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	44,822	11,164	55,987	△73,031	△2,566,406	△2,583,450
当期変動額合計	44,822	11,164	55,987	△73,031	△2,566,406	△4,808,778
当期末残高	124,628	187,680	312,309	455,962	1,193,791	12,143,118

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	△2,226,948	516,848
減価償却費	887,779	1,054,376
減損損失	48,560	11,968
のれん償却額	254,011	128,960
のれん償却額(特別損失)	3,212,733	-
株式報酬費用	94,153	8,561
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,230	120,716
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,304	63,046
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△50,339	△62,972
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△15,711	3,366
本社移転費用引当金の増減額(△は減少)	-	50,289
受取利息及び受取配当金	△37,321	△94,012
支払利息	108,402	183,639
為替差損益(△は益)	102,089	△141,407
持分法による投資損益(△は益)	△538,173	△664,073
持分変動損益(△は益)	2,096	2,443
新株予約権戻入益	△270	△62,536
資金調達費用	54,622	1,054
公開買付関連費用	-	197,612
関係会社株式売却損益(△は益)	△510,970	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△169,443	-
投資有価証券評価損益(△は益)	33,875	34,474
売上債権の増減額(△は増加)	△619,605	△443,644
仕入債務の増減額(△は減少)	32,312	132,690
その他の資産の増減額(△は増加)	419,366	△544,345
その他の負債の増減額(△は減少)	△554,653	△443,840
その他	△73,332	△3,653
小計	432,699	49,562
利息及び配当金の受取額	179,343	244,062
利息の支払額	△75,039	△155,794
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,236,895	△174,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,699,891	△36,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△124,820	△216,043
無形固定資産の取得による支出	△452,729	△383,384
投資有価証券の取得による支出	△296,705	△101,581
投資有価証券の売却による収入	1,010,216	-
貸付けによる支出	△95,500	△10,323
貸付金の回収による収入	113,429	26,029
敷金及び保証金の差入による支出	△11,517	△448,209
敷金及び保証金の回収による収入	8,345	25,018
定期預金の払戻による収入	-	250,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△135,354
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	38,626	-
投資事業組合からの分配による収入	61,550	11,231
その他	△6,107	△3,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	244,787	△986,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△23,547	△190,719
長期借入れによる収入	5,114,583	5,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,147,318	△2,202,689
社債の償還による支出	△360,194	△360,223
自己株式の取得による支出	△400,360	△2
セール・アンド・リースバックによる収入	-	261,000
リース債務の返済による支出	△37,902	△151,083
非支配株主への配当金の支払額	△95,893	△2,803
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△5,352,292
その他	6,059	6,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,055,426	△2,992,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	△174,139	135,992
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	426,182	△3,879,419
現金及び現金同等物の期首残高	19,394,902	19,821,084
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	425,856
現金及び現金同等物の期末残高	19,821,084	16,367,521

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
給与及び手当	6,089,302千円	5,881,963千円
賞与引当金繰入額	86,074	298,774
役員賞与引当金繰入額	9,750	75,523
のれん償却額	254,011	128,960
株式報酬費用	94,153	8,561
システム利用料	1,385,896	1,171,554

※2 本社移転費用引当金繰入額

当社は、経営合理化を次の段階へ進めるため、2025年4月15日開催の取締役会において、当社及び国内主要子会社の本社を、2026年9月期に東京都港区内で移転することを決議いたしました。これにより、当連結会計年度において、移転に係る費用などについて本社移転費用引当金を計上したものであります。

※3 減損損失

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位：千円)

用途	種類	場所	金額
共用資産	工具、器具及び備品 有形固定資産（その他）	日本	3,516
事業用資産	工具、器具及び備品 有形固定資産（その他）	アジア	2,389
事業用資産	無形固定資産（その他）	日本	42,654

当社グループは、継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基礎としたグルーピングをしております。

共用資産は、帳簿価額を管理会計上の区分を基礎として合理的な基準で配分し、減損の兆候が認められた資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

事業用資産は、営業活動による損益が2期連続でマイナスとなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、将来キャッシュ・フローが見込めない資産については、回収可能価額を零として評価しており、割引率を使用しておりません。

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位：千円)

用途	種類	場所	金額
共用資産	建物	日本	10,482
	工具、器具及び備品		
事業用資産	工具、器具及び備品	アジア	827
事業用資産	無形固定資産（その他）	日本	657

当社グループは、継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基礎としたグルーピングをしております。

共用資産は、帳簿価額を管理会計上の区分を基礎として合理的な基準で配分し、減損の兆候が認められた資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

事業用資産は、営業活動による損益が2期連続でマイナスとなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、将来キャッシュ・フローが見込めない資産については、回収可能価額を零として評価しており、割引率を使用しておりません。

※4 のれん償却額

前連結会計年度に、当社が保有するUUUM株式会社の株式の市場価格が取得価額に比べて著しく下落したことに伴い、個別決算において当該株式の減損処理を計上したため、連結決算において「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」（企業会計基準委員会移管指針第4号2024年7月1日）第32項の規定に基づき、特別損失としてのれん償却額を計上したものであります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービス

「広告事業」では、モバイルマーケティングプラットフォーム「Red」、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」、高度なブランドセーフティ機能を搭載した動画コンテクスチュアルターゲティングを可能とする次世代型YouTube広告枠買取システム「GP」、ネイティブアドプラットフォームなどの提供を行っております。

「投資事業」では、グローバル展開のポテンシャルを有する製品/ソリューションを開発するITベンチャー企業を主たる投資対象として、投資リターンによる企業価値の向上を図るための事業を行っております。

「インフルエンサーマーケティング事業」では、クリエイターの様々な活動のサポート、クリエイターを活用したプロモーション、および番組制作・チャンネル運営等を行っております。

「その他事業」では、国内外のグループにおける経営管理機能等の提供を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法です。

報告セグメントの利益又は損失（△）は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	広告事業	投資事業	インフルエンサーマーケティング事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,480,036	51,413	22,074,281	105,683	51,711,413	-	51,711,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	49,652	-	85,928	1,257,383	1,392,964	△1,392,964	-
計	29,529,688	51,413	22,160,209	1,363,067	53,104,378	△1,392,964	51,711,413
セグメント利益又は損失（△）	992,153	△72,796	△122,468	△78,010	718,878	△717,220	1,658
セグメント資産	12,916,739	1,156,569	14,544,792	14,412,024	43,030,126	△1,412,839	41,617,287
その他の項目							
減価償却費	457,556	-	423,170	7,052	887,779	-	887,779
減損損失	45,044	-	-	3,516	48,560	-	48,560
のれん償却額	-	-	3,466,745	-	3,466,745	-	3,466,745
持分法適用会社への投資額	1,455,999	187,385	59,738	589,220	2,292,344	-	2,292,344
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	596,218	-	66,703	2,683	665,604	-	665,604

（注）1. 調整額は、以下のとおりであります。

（1）セグメント利益又は損失（△）の調整額はセグメント間取引の消去であります。

（2）セグメント資産の調整額はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. その他の項目ののれんの償却額のインフルエンサーマーケティング事業には、特別損失で計上しているのれん償却額3,212,733千円が含まれております。

当連結会計年度（自 2024年10月 1 日 至 2025年 9 月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	広告事業	投資事業	インフルエンサーマーケティング事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,367,234	58,717	19,454,124	443,278	50,323,355	-	50,323,355
セグメント間の内部売上高又は振替高	88,007	-	61,236	794,758	944,002	△944,002	-
計	30,455,242	58,717	19,515,360	1,238,036	51,267,357	△944,002	50,323,355
セグメント利益又は損失（△）	744,610	△6,980	△28,928	△452,780	255,921	△159,406	96,515
セグメント資産	16,011,376	1,104,830	13,021,576	12,691,366	42,829,150	△2,618,942	40,210,208
その他の項目							
減価償却費	573,425	-	454,576	26,374	1,054,377	-	1,054,377
減損損失	958	-	-	11,010	11,968	-	11,968
のれん償却額	16,863	-	112,096	-	128,960	-	128,960
持分法適用会社への投資額	1,923,244	191,775	50,512	644,789	2,810,320	-	2,810,320
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	841,242	-	79,136	39,238	959,617	-	959,617

（注） 1. 調整額は、以下のとおりであります。

（1）セグメント利益又は損失（△）の調整額はセグメント間取引の消去であります。

（2）セグメント資産の調整額はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年10月 1 日 至 2024年 9 月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

（1）売上高

（単位：千円）

日本	米国	アジアその他	合計
21,047,053	24,700,459	5,963,901	51,711,413

（2）有形固定資産

（単位：千円）

日本	北米	アジア	合計
435,318	26,044	29,411	490,774

3 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Google LLC	7,514,250	インフルエンサー マーケティング事業

当連結会計年度（自 2024年10月 1 日 至 2025年 9 月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

（1）売上高

（単位：千円）

日本	米国	アジアその他	合計
21,562,968	23,625,278	5,135,108	50,323,355

（2）有形固定資産

（単位：千円）

日本	北米	アジア	合計
596,620	14,621	70,595	681,838

3 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Google LLC	6,498,702	インフルエンサー マーケティング事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	広告事業	投資事業	インフルエンサーマーケティング事業	その他事業	計		
当期末残高	-	-	1,345,159	-	1,345,159	-	1,345,159

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

なお「インフルエンサーマーケティング事業」において、のれん償却額を特別損失に計上したことにより、のれんの未償却残高に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は当連結会計年度において3,212,733千円であります。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	広告事業	投資事業	インフルエンサーマーケティング事業	その他事業	計		
当期末残高	134,909	-	1,233,062	-	1,367,972	-	1,367,972

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

該当事項はありません。

(企業結合等関係の注記)

(共通支配下の取引等)

子会社株式の追加取得

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称：UUUM株式会社

事業の内容：動画投稿者、芸能タレント、音楽家などの育成及びマネージメント

(2) 企業結合日

株式公開買付による取得：2025年1月8日（みなし取得日 2025年1月1日）

株式売渡請求による取得：2025年2月19日（みなし取得日 2025年1月1日）

(3) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) 追加取得後の子会社株式の株券等所有割合

企業結合前の株券等所有割合：50.97%

株式公開買付後の株券等所有割合：91.55%

株式売渡請求後の株券等所有割合：100.0%

(6) その他取引の概要に関する事項

UUUM株式会社を当社の完全子会社とすることで資本関係を更に強化し、同社の非支配株主と当社との間での利益相反のおそれを解消した上で、これまで以上の一体化した経営を行うことにより、協業体制の構築や経営資源・ノウハウの最大化、意思決定の迅速化・簡素化、事業成長への経営資源の集中といった効果を発現させることを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引等として処理しております。

3. 追加取得した子会社株式の取得原価及び対価の種類ごとの内訳（株式売渡請求による取得分を含む）

取得の対価（現金及び預金）：5,165百万円

取得原価：5,165百万円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額

2,370百万円

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	728.73円	603.88円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△179.75円	15.85円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-円	15.81円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△3,190,273	275,472
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△3,190,273	275,472
普通株式の期中平均株式数(株)	17,748,137	17,376,512
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	-	△824
(うち持分法適用の関連会社の潜在株式による調整額(千円))		△824
普通株式増加数(株)	-	-
(うち新株予約権(株))	-	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	-	-